

湖畔の風

★各地区厄祓い、年祝い行事

各地区で厄祓い・厄年祝いの行事が開催されました。



小倉地区

小倉地区は、2月7日（土）、小倉公民館において丹内山神社宮司による神事を取り行いました。該当者1名が参加しました。



中通地区

中通地区は、2月11日（祝・水）田瀬振興センターにおいて小山田津島神社宮司による神事を取り行いました。該当者（家族も含めて）6名が参加しました。



白土地区

白土地区は、2月1日（日）、役員代表が小山田津島神社でお祓いをしていただき、該当者にお守り等をお渡ししました。下の写真は、津島神社の写真です。中央は神社内の天井絵です。



★第7回スポーツ交流・シャフルボード大会

2月15日(日)第7回スポーツ交流・シャフルボード大会が開催されました。

2人対2人(ダブルス)で戦い、4チームずつ4リーグで競技しました。

各リーグ1位による決勝トーナメントと各リーグ2位による、5から8位順位決定トーナメントを行いました。下記のような結果になりました。

《優勝》 朝倉 戴治・伊藤 武洋 チーム (中通)

《準優勝》 菅原 講作・小田島功一 チーム (小倉)

《第3位》 阿部 惣七・阿部 勇雄 チーム (舘野)

《第4位》 朝倉 務・櫻田 繁 チーム (小倉)

《5位以下》

⑤ 多田 孝明・伊藤 清吾 チーム (白土)

⑥ 伊藤 山由・菅谷 正孝 チーム (小倉)

⑦ 菅原 政二・菅谷 毅 チーム (白土)

⑧ 内舘 豊子・大隅 弘子 チーム (中通)



キュー(細い棒)でディスク(円盤)を押し出すのですが、はじめは遠くに行きません。上手な方は軽く飛ばしますが…



得点はみんなで協議します。線に係ると0点。他に-10点があるので、気を付けて!

今回はたくさんの参加者があり16チームで競技することができましたが、すべて12mのコートで競技を行ったので、初めての方や女性は得点エリアまで届かない場合があります。来年度は、女性や高齢で体力のない方は9mコートを使用して、競技することを検討しています。来年もたくさんの参加をお待ちしております。



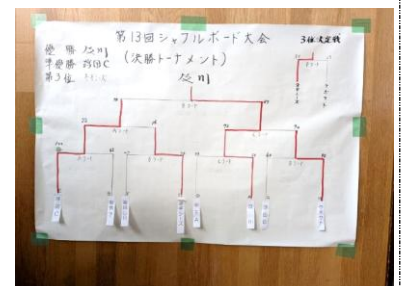
12mコートは、長くて、女性の方の多くは、得点エリアに届かず苦労しました。



朝倉・伊藤チーム(中通)に優勝の賞品が贈られました。

★東和町シャフルボード大会

当コミュニティのシャフルボード大会より前の、2月1日(日)に東和町シャフルボード大会が東和体育館で開催され、クボサトチームとして、小倉の太田代信雄さん・菅原講作さんが参加しました。決勝トーナメントに進みましたが、惜しくも4位でした。昨年も4位でしたので、来年の活躍を期待いたします。



○ 白土のお天王さまの棟札(写真参照)

中通の「お天王様」の棟札が神道の書式に則って書かれているのに対して、白土は仏式の棟札です。

中央には奉建立牛頭天王村中万病退散子孫繁栄祈ると記されています。牛頭天王が村中の万病退散と子孫の繁栄を祈って下さることを願ってこの神社を建立いたしますと記されています。

右側には、南無東降三世(ごうさんぜ)夜叉(やしゅ)明王、南無南方軍荼利(ぐんだり)夜叉明王と記されております。

左側には、南無南方大威徳(だいいとく)夜叉明王、次に北方金剛(こんごう)夜叉明王と記されております。

五大明王の中心は不動明王とされますが、ここでは牛頭天王とされていますし、神社としてはスサノオノミコトがご神体とされ、お姿を雷神としています。

それぞれの明王の名前の前に「南無」という字がありますが、これはインドの古い言葉にサンスクリット語というのがあります。日本でいう梵字で「ナモ」の漢訳語で敬意・尊敬・崇敬の意味があります。簡単に言えば「信じます」という意味で、明王の力を信じますという意味です。降三世夜叉明王とは、過去・現在・未来の三世を支配する明王です。また、軍荼利夜叉明王とは、様々な障碍(しょうがい)を除く明王です。大威徳夜叉明王とは、悪を打ち倒す役割を持ちます。金剛夜叉明王は、強力な武具を持ち煩惱を打ち砕く役目です。

夜叉とは、古代インドの神話にでてくる鬼神で、後に仏教に取り入れられて仏教を守る神となりました。明王は密教でいう仏の化身で、悪を断つために怒りの表情をしています。

以上で田瀬の「おてんのうさま」の記述は終わりにしますが、先に中通の「おてんのうさま」の棟札に「塚長根神社」と記されていることから、「おてんのうさま」は小倉にもあったのではないかと(異聞田瀬の歴史43号)に書きました。去る2月1日に花巻市博物館において中村吉幸館長の「牛頭天王に関する」館長講座がありました。この時に牛頭天王信仰について興味深いお話がありましたので、参考までに紹介します。

神仏判然令で「おてんのうさま」禁止

それによると、平安時代以降(794年)牛頭天王は長い間庶民に信仰されてきましたが、明治元年(1968年)明治政府の『神仏判然令=神仏分離令』によって信仰を禁じられました。

その理由は諸説ありますが、国家神道を目指す明治政府が、神仏習合の頂点にいた牛頭天王を排除したとか、同じ「てんのう」と称する牛頭天王を不敬と考えたともいわれています。これにより牛頭天王社と呼ばれた神社は、八坂神社、八雲神社、津島神社などと名称を変え、祭神を「スサノオノミコト」として現在に至っています。

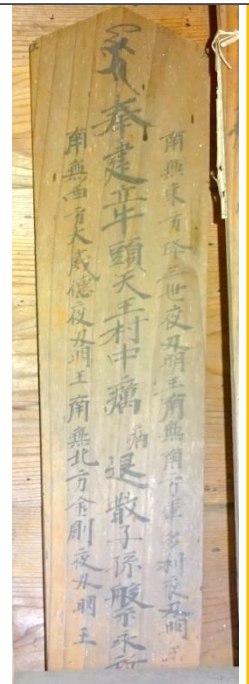
『神仏判然令』には、次のように書かれています。「中古以来、某権現あるいは牛頭天王の類い、その外仏語をもって神号に相称え候神社少なからず候。いずれもその神社の由緒を委細に書きつけ、早々申し出すべく候事。ただし、勅祭(註1)の神社、御宸翰(ごしんかん註2)、勅額(註3)等これあり候向きは、これまた伺い出さずべく、その上にてご沙汰これあるべく候。その余の社は、裁判、鎮台、領主、支配頭等へ申し出さずべく候事。」

とあります。思うに、これにより中通では立派な「祇園天王社」の扁額がありながら、「塚長根神社」を招聘したのではなからうか。白土では、「おてんのうさま」と熊野神社を並べ、「スサノオノミコト」を祭神としています。

註：この項の執筆について小山田津島神社宮司、仙台・国分尼寺東堂、武蔵野市・古文書研究会の各位より助言をいただきました。

註1：天皇の使者が派遣されて執行される神社の祭礼。 註2：天皇の直筆の書や手紙がある神社。

註3：天皇が直筆で書いた額がある神社。



お知らせ！

花巻市が「第16回ロケーションジャパン大賞」の審査員特別賞を受賞しました！

今回は2024年11月1日～2025年10月31日に公開・放送・配信された映画やドラマの中から、最も地域を沸かせ、人を動かした「作品×地域」に贈られる賞です。

映画『おいしい給食 炎の修学旅行』は、2024年の11月に鉛温泉の藤三旅館、田瀬振興センター、宮沢賢治記念館で撮影が行われ、市は地元エキストラの手配、出演者の宿泊先やロケ弁発注先の提案などで協力を行いました。（詳しくは花巻市のホームページをご覧ください。）

当コミュニティ会議では、ロケ地の見学者のために案内看板を設置しました。県道沿いの振興センター入口と事務所前です。映画に合わせたイラストになっております。映画に出演した市原隼人さんの実物大看板、資料写真などと合わせてご覧ください。



3月の行事予定

4月の行事予定

- ・資源ごみ搬送
- ・第1回役員会
- ・令和8年度総会
- ・田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

都合により変更になることもありますのでご了承ください。

編集後記



3月。各地でお雛様の行事が行われています。ここ田瀬振興センターにおいても、ひな人形を飾りました。数年前に地区の方から寄付していただきました。40年ぐらい前に購入した、7段の立派なものです。また、花巻人形もお借りして飾ってあります。ご覧になりたい方は、振興センターまで、おいでください。なお、期間は3月18日までです。

田瀬地区の人口

—令和8年1月末現在—

(前月比)

行政区	世帯数	人数		
		男	女	計
田瀬第1	67(1)	77(2)	84(-1)	161(1)
田瀬第2	26	29	28	57
田瀬第3	67	63	78	141
計	160(1)	169(2)	190(-1)	359(1)

花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで